

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立鹿島東小学校）

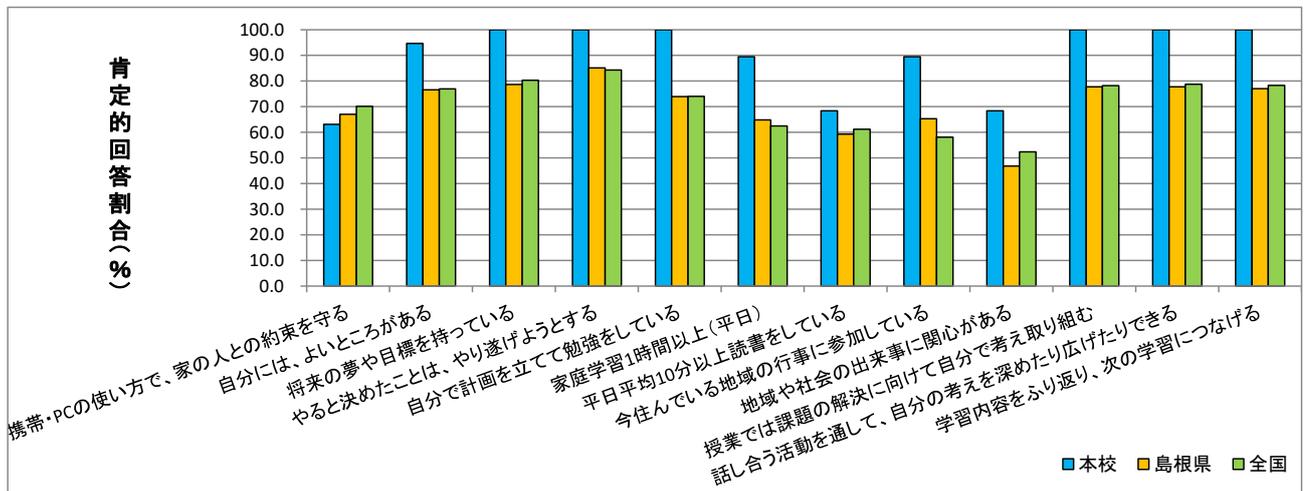
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
国語	○資料の意味を理解し、資料をもとに正しく答えることができる。 ○漢字を文の中で正しく使うことができる。 ●中心となる語や文を見つけて要約することが難しい。 ●自分の考えが伝わるように文章全体の構成を考え、書くことができにくい。	・説明文に力を入れ、大切な言葉の取り出し方や文の組み立て方の指導を系統的に行う。 ・学校設定の習熟の時間を使って、テーマを与え条件に合う文を書く活動を多く取り入れる。
算数	○棒グラフからその特徴を読み取ることができる。 ○道のりの差や時刻を正確に求めることができる。 ●基準量を1としたときの比較量を考えることが難しい。 ●三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を式や言葉で説明できにくい。	・既習事項をもとに問題解決をし一般化を図る授業を進める。 ・図形の構成要素に目を向け、必要な情報を取り出し、式の意味を言葉で表現する時間を多くもつ。

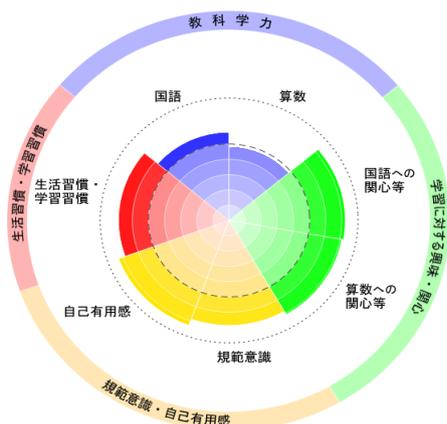
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
	○将来の夢や目標を持ち、自分で計画を立てて勉強をしている。 ○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている。 ●平日10分以上読書をするに個人差が見られる。 ●PCや携帯の使い方での家の人との約束を守れない児童が県や全国平均より多い。	・児童にあった本を選んで勧めたり、日ごろの学習の発展として本を活用したりして、読書への関心を高める。 ・外部講師を招きメディア学習を行ったり、家庭への協力を求めたりする。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・望ましい生活のリズムの定着をめざし、「健康チャレンジ週間」「読書週間」などの取組を家庭とともに推進していく。
 ・多くの情報から必要な情報を見つけ、文・図・表などの関係をとらえ、総合的に理解する学習を取り入れる。
 ・目的に応じて自分の考えが伝わるように理由や事例をもとに表現することができる力を育成する。

【受検者数】 19名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。